



郡市長がさまざまな現場を訪問し
市民の皆さまの活動の様子な
どをお伝えします



▲定禅寺通に面した明るいオフィスで、アップルの方々と懇談



▲セミナーをきっかけに保護者を始め、お話をきいた皆さまも、自主勉強会を始めてくださっています

市が表彰する仙台「四方よし」企業大賞を昨年度受賞した株式会社セレクトィー(個別教室のアップル)を、訪問しました。

自己肯定感の大切さを伝える

完全個別指導による塾の運営や家庭教師派遣を行うアップル。生徒一人一人に向き合う指導を大切にし、また保護者との対話を重ねる中で、不登校など子どもたちを巡るさまざまな課題の解決の一助になればと、子ども自身の肯定感を育む保護者向けセミナーに取り組んでいます。その参加者数は5千人を超えているそう。こうした地域への貢献などが「売り手と買い手が満足し、社会にも利益を生むのが良い商

い」という「三方よし」に、働きやすい職場環境づくりの「働き手よし」を加えた「四方よし」な企業として、高く評価されました。

自己肯定感とは、自分の良い面も悪い面も認めることができる心のこと。困難におつかったときに一歩踏み出す力を与えてくれます。「震災遺児への学習支援活動で、悩みをよく聴き、共有することで自信を取り戻していく姿を見て、改めて自己肯定感を育むことの重要性を感じました」と代表取締役の畠山明さん。セミナーを受けた保護者が自主勉強会を開催するなど、活動は広がりをみせています。畠山社長は「地域で教育事業に携わる者として、セミナーを通して地域とつながり、お世話になっている皆さんに恩返しをしていきたい」と話してくださいました。

社員の意見や強みを生かす

「育休中も社会とつながっていたくて、テレワークを提案しました。新しいことをしたいと考えたとき、上司が後押ししてくれます」と教えてくださるのは、広報・法人企画室の穴戸亜花梨さん。田中萌さんは、その制度を利用し、京都に引っ越した今もテレワークで働き続けています。この日はテレビ電話で参加し「保護者宛てのお便り作成などをしています。離れてもこの仕事を続けられて、とてもうれしいです」と話してくださいました。現場の声を拾い上げ、会社全体でより良い職

場環境づくりを進めていく。このような柔軟な取り組みが広がると、地域の雇用環境も変わっていくのではないかと実感します。「優秀な人材に長く働き続けてもらえるよう、能力を生かせる環境を整えたいと考えています。このような取り組みもあり、2年連続で離職者がゼロでした」と畠山社長。社員の意見を尊重し、個々の強みを生かすことがやりがいにつながり、生き生きと力を発揮している様子をとてもまぶしく感じました。

一人一人を大切に

「一人一人の良さを生かす」を理念とするアップル。生徒はもちろん、社員それぞれの持ち味も尊重する思いが伝わってきました。生徒が社員として戻ることもあるそう。人との縁を大事にし、魅力ある企業だからこそ好循環で、若者の地元定着にもつながっています。企業、社員、消費者、地域それぞれに良い効果を生み出す「四方よし」の取り組みが広がり、地域活性化につながるよう、私も応援していきます!

団体紹介

株式会社セレクトィー
(個別教室のアップル)
平成8年創業 / ホームページ
<http://www.apple-net.jp/>



▲社員の皆さんと。左から5人目が畠山社長

※仙台「四方よし」企業大賞の応募について詳しくは10ページをご覧ください

